



+ メーゲレ

生産型グライディングセンター MFP / MGCシリーズ

クリープフィードによる高速重研削



YKT
営業技術部長

岡村 康弘氏

スイスのMaegerle (メーゲレ) 社は、研削盤を扱う世界最大規模の企業集団「ユナイテッドグライディンググループ」の一員で、特殊生産型の平面研削盤を主に製造しています。

「MFP/MGCシリーズ」は、砥石の切り込み量を多くし送り速度を遅くする「クリープフィード研削技術」と「油静圧ガイドウェイ」を採用し、成形された砥石(といし)で一気に高速重研削を行います。このクリープフィード研削技術は、日本ではあまり定着していません。しかし、本シリーズを導入した国内外のユーザーから「従来の加工方法に比べ、圧倒的な加工時間の短縮、段取り時間や工程の削減で生産効率、さらには製造コストの改善が見られた」など、高い評価が多く寄せられています。

また、砥石形状と研削能力の維持という観点から「CDドレス」技術も取り入れました。ドレスをしながら研削することで、砥石形状、砥石研削能力、高い面粗度の確保が可能となり、最高の工程能力指数(CPK)を実現します。

本シリーズは、航空機や重電のタービン部品、自動車やメカトロニクス産業で使われる各種ラック・ギア、さらにロボット産業で必須の減速機ギアなど幅広いニーズに対応します。当社はそれらの実績をもとにMaegerle社のクリープフィード研削盤による生産性の向上、加工コストの削減を提案します。

「MFP/MGCシリーズ」は、砥石の切り込み量を多くし送り速度を遅くする「クリープフィード研削技術」と「油静圧ガイドウェイ」を採用し、成形された砥石(といし)で一気に高速重研削を行います。このクリープフィード研削技術は、日本ではあまり定着していません。しかし、本シリーズを導入した国内外のユーザーから「従来の加工方法に比べ、圧倒的な加工時間の短縮、段取り時間や工程の削減で生産効率、さらには製造コストの改善が見られた」など、高い評価が多く寄せられています。

「MFP/MGCシリーズ」は、砥石の切り込み量を多くし送り速度を遅くする「クリープフィード研削技術」と「油静圧ガイドウェイ」を採用し、成形された砥石(といし)で一気に高速重研削を行います。このクリープフィード研削技術は、日本ではあまり定着していません。しかし、本シリーズを導入した国内外のユーザーから「従来の加工方法に比べ、圧倒的な加工時間の短縮、段取り時間や工程の削減で生産効率、さらには製造コストの改善が見られた」など、高い評価が多く寄せられています。



特徴

高速重研削を実現するグライディングセンター。基本的な機械構成は同じだが、MFPシリーズはテーブル側が移動し、MGCシリーズは砥石軸側が動く。クリープフィード研削を取り入れ、高速研削を実現。案内方式には、剛性の高い油静圧スライドを採用した。ATCを備え、切削工具やタッチプローブなども搭載できる。写真は「MFP50」。

問い合わせ先

YKT株式会社

〒151-8567
東京都渋谷区代々木5-7-5

TEL 03-3467-1252
<https://www.ykt.co.jp/>